

2014年4月1日

ご参考資料

## Point

1

## 期待されるジョコ氏のインドネシア大統領就任と改革の推進

- インドネシアでは2014年7月に大統領選挙が実施されますが、改革派としての行政手腕が高く評価されているジョコ氏が大統領に就任すれば、経済・構造改革の進展が期待できると考えます。
- 具体的には、①汚職の抑制、②予算配分の見直しと効率的な資金配分：燃料補助金への支出を一段と減らし、インフラ整備（交通渋滞の解消に向けた都市交通システムの構築）、ヘルスケア、教育などへの支出を増やす、などが現時点では考えられます。
- 大統領選挙に関する最近の各種世論調査ではジョコ氏が優勢であり、同氏が大統領に就任する可能性は高いと当社は考えます。また、副大統領をはじめとする次期政権の主要メンバーには実力者が揃うものと思われま
- なお、大統領選挙の前哨戦となる4月9日の総選挙では、ジョコ氏が所属する闘争民主党の躍進が期待されるものの、単独政権の獲得には至らず、他党との連立政権を組まざるを得ないと当社は考えます。しかしながら、闘争民主党は次期政権で主導権を十分に発揮できるものと思われ、当社ではこれら一連の選挙を巡りインドネシアにおける政治的不透明感が高まる可能性は低いと考えます。

## (ご参考)大統領選の主な候補者

氏名	所属政党	支持率*
ジョコ・ウィドド	闘争民主党(野党)	44%
プラボウォ・スビアント	グリンドラ党(野党)	11%
アプリザル・パクリ	ゴルカル党(野党)	9%

\*2013年12月調査

出所: Kompas紙のデータをもとにHSBC投信が作成

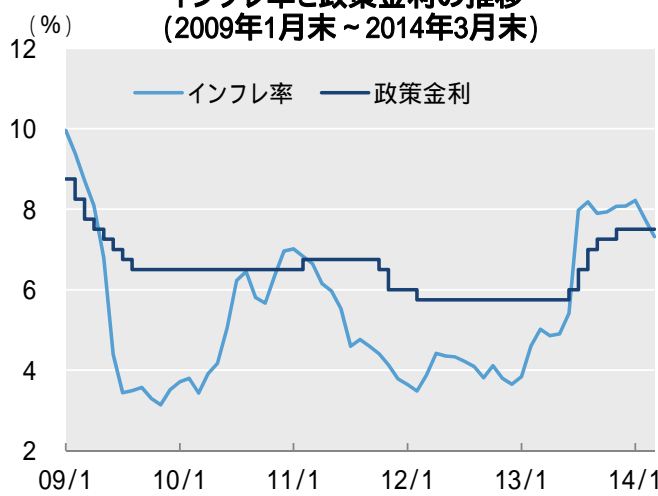
## ジョコ・ウィドド氏(通称:ジョコウイ、52歳)

- 最大野党、闘争民主党に所属。
- 貧しい家庭に育ったが、家具輸出業などを経て、2005年に中部ジャワのスラカルタ(通称:ソロ)市長に就任。
- 現在は、ジャカルタ首都特別州の知事。
- 常に現場に赴き、住民の声に積極的に耳を傾け、政策を実行する姿勢から、「庶民派」として各種世論調査で圧倒的な支持率を誇る。
- 赤いチェック柄のシャツがトレードマーク。

## 債券市場の見通し～大いに期待できる市場環境の改善

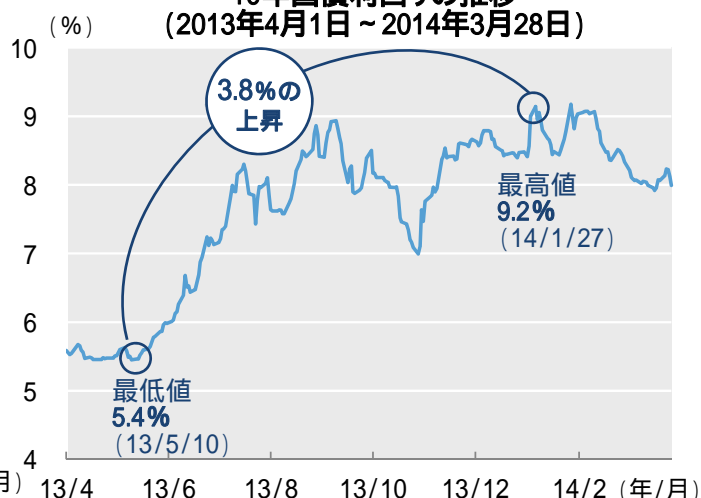
- 2014年に入り、インドネシア債券市場ではインフレ率の落ち着きなどから利回りは低下（債券価格は上昇）しています。
- 当社では今後の債券市場についてポジティブに見ています。その理由として、①一連の選挙を巡る不透明感の高まりは見込み難いこと、②昨年7月以降のインフレ率が補助金付き燃料価格の引き上げから高水準になったこともあり、今後インフレ率は前年同月比で低下が見込まれること、③インフレ率の低下見込みを背景にインドネシアの実質金利の上昇が期待できることが外国人投資家にとり魅力的であること、などが挙げられます。
- また、ジョコ氏が大統領に就任すれば、ジャカルタ首都特別州知事としてのこれまでの行政手腕や気さくな庶民派の人柄などを背景に、貧民層に目配せしながらも経済・構造改革を推進していくものと期待され、これはインドネシア債券市場にとり支援材料になるものと思われまます。
- このような環境下、当社では、今後、超長期債に注目していきます。

インフレ率と政策金利の推移  
(2009年1月末～2014年3月末)



出所：データストリーム、ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

10年国債利回りの推移  
(2013年4月1日～2014年3月28日)



出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

## 為替市場の見通し～当面は現行水準で推移

- ルピア相場は債券市場と同様に上昇傾向を辿っていますが、当面、現行水準で推移するものと考えます。
- これは、これまでの利上げ効果から輸入に減少が見られるものの、本年1月中旬の鉱物（未精錬）原石の輸出を禁止した新鉱業法の施行などから輸出の持ち直しが出遅れており、当面、貿易収支の大幅な改善が期待し難いことがその要因です。
- しかしながら、世界経済の本格的な回復に伴う輸出の拡大見込みから、貿易収支は本年下半期には黒字に転じるものと当社は予想しており、これはルピア相場にとり支援材料になると考えます。

ルピア(対円)の推移  
(2013年4月1日～2014年3月31日)



出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

## 留意点

### < 当資料に関する留意点 >

- ▶ 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- ▶ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ▶ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ▶ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

### < 投資信託に関する留意点 >

#### 投資信託に係わるリスクについて

- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

#### 投資信託に係わる費用について

- 購入時に直接ご負担頂く費用…… 購入時手数料 上限3.78%(税込)
- 換金時に直接ご負担頂く費用…… 信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に…… 運用管理費用(信託報酬) 上限年2.16%(税込)  
間接的にご負担頂く費用
- その他費用…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。  
「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。

注: 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。  
費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。  
投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会